

# 担当講師からのアドバイス

～志望大学合格のために、この夏、必要なこと～

「夏は入試の天王山」。

集中特訓に向けて、そして夏の学習について、先生方からのアドバイス、メッセージをお届けします。これらを胸に刻み込んで、志望大学合格を目指して、充実した夏を過ごしてください。

## 英語科 成川先生

### ■ 英語の力を伸ばす上でのポイントと夏の学習の注意点

英語が伸びてきていない人は、苦手意識が先行して十分な勉強時間がとれなかったり、後回しになったりしていませんか？

まずは、ある程度の勉強時間を確保しましょう。あれもこれもと手を出すのではなく、分野を絞ってみてください。あえて分野を挙げてみるなら、準動詞・関係詞・接続詞・比較。これらは英文読解に直結する項目なので苦手な人は重点的に学習することです。

概して単語・文法などは比較的手のつけやすい分野だと思うので、まずはこれらを克服しましょう。FAT や HALF TEST の復習は必ずやってください。

ワークショップでは8月末に「英語1000題テスト」が実施されます。このテストを一つの目標にして頑張ってみてください。もしもその時期までにある程度の結果を出せなければ皆さんの「第一志望現役合格」はかなり厳しいものとなるでしょう。英語が苦手でも合格できる大学は数多くはないのです。

### ■ 第一志望大学に合格するために必要なこと

第一志望大学合格を目指して学習していくうえで必要な事は「集中力」だと思います。現役生が受験勉強に使える時間は限られていますよね。そんな限られた時間の中でいかに「量」をこなし「質」の高い勉強ができるか。これはやはり「集中力」によるところが大きいと思うんです。

なかなかうまくいかない人は、ワークショップの授業に集中するところから始めてみてください。入試もワークショップの授業時間と同じくらいですね(90～150分)。だから毎回の授業を本番のシミュレーションくらいに思っ取り組んで欲しい。「ポヤっとしている人や居眠りしている人」は「論外」ですから容赦なく授業から追い出しますよ！！！！

そんなことすらできないようでは第一志望大学合格どころか、現役合格すること自体が遠いものになってしまいます。

### ■ ワorkshop生に一言

夏は長いようで意外と短いです。普段やれないことをあれもこれもやろうと欲張る気持ちはよくわかります。しかし、欲張った結果どれも中途半端というのはよくある話。「最低限これだけは」とやるべきことを絞る勇気も大切です。

「夏の1000題テスト」をがんばれ！その努力は必ず入試結果にあらわれます。

先輩たちが証明済み！



### ■第一志望合格に向けて、夏の過ごし方

1学期に学習した内容は身についていますか？  
目の前で先生が解説してくれなくても、自分で書いたノートを見返さなくても正しい発想で英文を読み、問題を解くことができますか？  
新しいこと〔≡ 自分の知らないこと〕を勉強したがる受験生がどうしても多いけど1度やった内容が正確に解けないようでは授業に出た意味がありません。  
夏の間徹底的に復習をくり返し、新しい内容へとつなげていきましょう。

そして、復習とともに、英語でとにかく重要なのは語彙力です。  
どんなに「発想法」を頭に入れても、単語や熟語を覚えなければ英語を正確に読んで、解答を導くことはできません。  
まずは、1冊ずつでいいのでしっかりと単語と熟語を覚えてしまい、8月末の「英語 1000 題テスト」でしっかりと結果を出すこと！

### ■ワークショップ生に一言

来年の夏、憧れの大学で何してる！？  
「滑り止めの大学」と「第一志望の大学」、2つの大学に通ったことのある石川だからわかります。  
やっぱり、「第一志望」って最高だから！  
来年の夏、第一志望校で過ごす権利を自分自身の力で勝ち取ってください。  
一緒に頑張りましょう！

### ■なぜ夏期集中特訓がある？

受験生の夏。勉強を普段以上にやらなければならないし、夏明けもその勉強量と時間を維持できなければならないことは言われるまでもないと思います。でも「明日から10時間以上やるぞ！」と意気込んですぐに実践できるなら苦労はしないですね。わかっているけど実践できなかったり、実際机には向かって集中が薄かったりする人も多いはず。だからこそ連日濃い密度で1日中机に向かい勉強するという「体験」を集中特訓で得てほしい。そのような体験と、それをその後も続ける体力を身につける機会と、皆自身も認識して取り組むことが大切です。

### ■数学の成績を伸ばすために

本番で問題が解けるようになる。そのために普段の演習でどうすれば本番1人で解けるようになるのか明確にしておくことが大切です。問題演習後に「なぜ解けたのか」「どこからその解法に気づけたのか」これらを必ず自分の言葉で説明するクセを持ちましょう。それが1人で気づき解けるようになる大切なキーワードになります。  
夏は解く問題数が飛躍的に増えるはず。だからこそ本番の結果につながる勉強を意識しましょう

### ■ワークショップ生に一言

「模試で思うような結果が出ない」「夏明けには到達したい目標に到達できる気がしてこない」  
人間うまく先の展望が見えてこない不安になるものです。そんなときこそ、その原因をじっくり考えてみてください。結果を出すために本気で行動している？ 今までの自分は本当に全力？ 少しでも思い当たる節があるのなら、逃げず甘えず1つずつ直していきましょう。今のその行動が何につながるのか、自分自身で納得して動けるようになろう！

## 数学科 鈴木先生

### ■集中特講について

誰もが頑張る夏だからこそ少しの怠けが大きな差となる。  
学校が終わり、スケジュールを自分で考え実行しなければならない。  
しかし、それが出来る人は限られている。  
だからこそ最高の効率を目指した集中特講で周りに差を付けろ！

### ■数学の学習法

知識を広げても基礎的な考え、計算力が無ければお話になりません。  
本番で「わかったのに解けなかった」は通用しません。  
何度も同じ問題を解き、方針の立て方、式の変形を理解して身につけましょう。  
それが出来るようになったら結果は自ずとついてきます。

### ■ワークショップ生に一言

「努力したものが全て報われるとは限らん。しかし！成功した者は皆すべからく努力しておる！」  
by 鴨川会長

## 現代文・小論文科 小柴先生

### ■夏の勉強のころえ

現代文の授業がある期間(夏期講習+夏期集中特訓)は、その授業に集中しよう。その期間以外の自主学習としては、一週間に2題くらいのペースで現代文問題集にあたりましょう。ただし、志望大の過去問(赤本など)を本番同様の時間で解くなどといった勉強は、秋以降です。夏の時期は、まだまだじっくり時間をかけて、授業で示された「対比の原理」を自分で使えるようにしよう。小論文については授業がすべて。それ以外に手を出す必要はありません。

### ■第一志望大学に合格するために必要なこと

第一志望大の教授がつくった品位ある問題に解答し、第一志望大の教授に採点され、高い評価を受けることが目標(目標は入学式での新入生総代表でもよい)です。模試から学べることはすべて学び、改善しますが、めげてはダメ。高い志しが、2月、3月の試験日まであなたを鼓舞します。

### ■ワークショップ生に一言

テレビが、「湘南海岸この夏一番のにぎわいです」というような晴天の日に勉強する快感を知ろう。このマゾヒスティックな喜びを知れば、冬のクリスマスもお正月も乗りきれ。



### ■第一志望大学に合格するために必要なこと

志望校への「想い・熱意」だけは忘れないでください。そのためにも、いつまでも悩んでいないで「バシッ！」と志望校を決めましょう。そもそも「志望」なわけですから、成績の良し悪しなんて今は関係ありません。「通ってみたい！憧れる！オシャレ！家から近い！」などといった、ワクワクするような気持ち優先で良いと思います。

古文受講者には、普段から言っていますが、志望校を決め、簡単でも過去問研究をすれば、やるべきことが決まり、学習時のテンションが決まります。遠い目標が今のやる気に直結するということです。ですから、ぜひとも「想い・熱意」が沸き起こるような志望校を見つけてください。(ちなみに、僕は東京で一人暮らしをしたいという「想い」があったので、そのような理由を両親に説得するために、有名大学である母校を志望しました。)

### ■ワークショップ生に一言

「〇〇という科目が苦手で…」 「なかなか成績が上がりません」と悩んでいる人がいるようですが、そういう人こそ授業を自分で再現できるまで復習を徹底的に行ってください。ワークショップの先生は、みな授業のプロフェッショナルです。したがって、講義・解説がわかりやすいことや、みんなが授業後に「理解できた！」と思うのは、当然のことです。ただし、その「わかりやすかった！」「理解できた！」という一種の“錯覚”を感じているせいで、【復習を怠る／適当に終わらせる／解答の正誤だけ移し直す】といった、到底復習とは言えない行為で終わっていませんか？

例えば、料理番組を熱心に見て、「こう作るのか！」と思ったのに実際には作らない人のことを料理が出来る人だと言えるでしょうか？僕から見ると、上記【 】に該当している人は↑の人と全く同じです。それではいつになっても、上達しません。ごちゃごちゃ嘆く前に、各先生の方法を体得するための再現性のある復習をしてください。必ず結果はあらわれます。

